



### ようこそ! しろいしに!

#### 転入者対象の市内見学ツアー

6月4日と6日の両日、当市に転入して間もない市民の皆さんを対象に、市内の公共施設などを見学する市内見学ツアーを開催しました。

これは、当市にある施設を知ってもらい、楽しく便利に暮らしてもらおうと今年初めて開催したものです。白石城からスタートしたツアーでは、各施設を訪問し、担当者の案内で見学を行いました。参加者たちは、外から見ていただけでは分からなかったことがたくさんあり、参加して良かったと感想を述べていました。



▲担当者の説明を熱心に聞く参加者の皆さん

### 北海道開拓の歴史を紹介

#### 片倉家の北海道開拓資料展示会

5月25日から28日の4日間、図書館で明治初期に北海道に移住した片倉家と家臣団の歴史を紹介した展示会を開催しました。この展示会は「白石古文書の会」と共に企画したもので、明治政府の最高行政機構であった太政官からの北海道開拓に関する辞令書など、図書館が所蔵している貴重な資料10点を展示しました。

期間中は、市内をはじめ仙台市など市外からも見学に訪れ、古文書の会員の皆さんによる解説を受けながら、熱心に見入っていました。



▲展示資料の解説も行われました

### 青空の下で体力づくり!

#### 市民グラウンドゴルフ大会

5月27日、白石川緑地公園で第15回市民グラウンドゴルフ大会が開催されました。



▲青空の下でナイスショット!

幅広い年代の皆さんが気軽に楽しめる「グラウンドゴルフ」を通じて、市民の体力増進を図ろうとヘルスパイオニアタウン事業の一つとして、毎年開催されています。今年の大会では、92歳の方を筆頭に約100名が出場。熱戦の末、団体の部で深谷南チームが優勝、準優勝の本郷第三千歳会チームと共に大河原管内大会への出場権を獲得しました。

### いつまでもきれいな水を守ります!

#### 水源地に記念植樹を実施

6月7日、白石市管工事業協同組合と白石市排水工事業組合に加盟する市内の上下水道業者の皆さんが水道事業所と協力して、県道から国立南蔵王青少年野営場に至る市道約140mに桜の苗木20本を植樹しました。



▲野営場の入り口までの整備を目指します!

これは、水道週間にちなんで当市の大切な水源である三住地区の保水力維持と景観向上を目指して実施している事業です。

また、この日は市内の福祉施設を重点に上・下水道設備の点検も実施されました。

### 元気に100歳を迎えました 布谷エイさん・半澤正雄さんに松竹梅敬老祝金

満100歳の誕生日を迎えられた布谷エイさん(福岡長袋・明治39年5月21日生まれ)と半澤正雄さん(西益岡町・同年5月24日生まれ)のもとを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、長寿を祝福しました。

秋田県ご出身の布谷エイさんは、北海道出身で鉱山関係の仕事に就かれていたご主人に従い、各地の鉱山を移りながら、子育てや家事などに多忙な日々を送られました。

40年ほど前から白石での生活を始められ、現在は丸森町の介護老人保健施設「丸森ロイヤルケアセンター」に入所されています。若いころから食べ物に好き嫌いはなく、最近まで縫い物をされていたとのこと。



▲笑顔で迎えてくれた布谷エイさん

小原地区出身の半澤正雄さんは現在、市内の介護老人保健施設「あさくらホーム」に入所されています。



▲多年にわたり活躍された半澤正雄さん

戦前・戦後を通じて県職員として木炭や材木の検査業務に従事されるなど、長年にわたりご活躍されました。

正雄さんはあさくらホーム入所者で100歳を迎えた初めての方とのことで、誕生日のこの日は、施設関係者や入所者をはじめ、大勢の皆さんで正雄さんの長寿を盛大に祝いました。

### 祝すまゝのひろばオープン1周年!

#### 白石城下生き粋フェスティバル

5月21日、市中心部ですまゝのひろばオープン1周年記念イベント「白石城下生き粋フェスティバル」が開催されました。

歩行者天国となった中町・長町の商店街では、たくさんの出店が軒を連ねる中、太鼓演奏やよさこい踊りなどが訪れた市民に披露されました。また、このほかにも白石旧車会による昔懐かしい車の展示や、白石の風景の写真展示などの多彩な催しが行われ、一日中たくさんの人でにぎわいました。



▲迫力のよさこい踊りに大興奮!

### 温かみのある作品を展示販売

#### 本町で「手作りの市」を開催

5月20日~21日の2日間にわたり、本町の空き店舗で「手作りの市」が開催されました。



▲お目当ての商品は見つかりましたか?

この催しは、市内で増加する空き店舗を活用して市街地に活気を取り戻そうとの試みで企画し、中央公民館や働く婦人の家などのサークルに通う皆さんが製作した作品の展示販売を行ったものです。

店内には、繊細で温かみのある手作りの作品が所狭しと並べられ、期間中たくさんの人でにぎわいました。

6月に入ると、各地区で敬老会が行われました。平成18年度敬老会にご招待する76歳以上の市民の方々は、市全体で5,021名いらっしゃいます。その各地の敬老会の主催者の一人としてあいさつをさせていただいていますが、会場のおじいちゃんやおばあちゃんが、息子のような、孫のような私に話す一言一句をしつかりとした姿勢で、かつ威厳のある態度で真剣にお聞きいただいている姿には頭が下がります。そしてその中で、時折見せる元気ですてきな笑顔には喜びとうれしさを感じます。平成元年に他界した祖母の姿が重なるのだと思います。

子どものころは両親が忙しかったので、私はばあちゃん子でした。何をすることもばあちゃんと一緒に。今考えてみると、当時としては何

## 風間市長の「虫の十ヶ言葉」 「老いを敬う」

やんでした。よく怒られてもいましたが、よく褒めてくれた優しいばあちゃん、とても大好きでした。ほかの方からは「お寺のばあさんは男勝りでおつがねがったよ。でも面倒見は良かったし、身なりはいつもきれいにしていた」

方々と共に体験してきたわけですから、私など到底かないません。米寿を迎えられたEさんの謝辞が頭に残っています。「大戦期に人生で一番素晴らしいといわれる青春時代を過ごし、物ない時代を生き抜いてきたのが我々の年代

の疑問も不満もなかったです(両親に言わせると不満やわがままばかりだったと言われるかもしれないが...)。逆にだれもいない家に帰らなければならぬ友達からすれば、私は恵まれていたと思います。活発で元気で気丈なばあちゃん

ちなみに、自立して健康的に暮らすことのできる期間を示す数字として「健康寿命」というものがあります。白石市の健康寿命は、平成16年度の数字で「80・3歳」となっています。今後もこの健康寿命を延ばし、健康で生きがい

